



～笑顔とやさしさいっぱい田井小学校～

令和7年度後期

# 学校評価だより

田井小学校

R8. 2月

田井小学校は「自分で考え、進んで活動に取り組む子の育成」「自他を認め、共に高め合う子の育成」「自分の健康を考え、元気に生活する子の育成」を重点目標に教育活動を進めています。後期学校評価の結果と今後の取組の概要についてお知らせします。



## 後期学校評価について

教育目標の具現化を目指し、知育部会・徳学部会・体育部会で教育課題を明確にし、その解決を図ってきました。そして、児童と保護者の皆様を対象に行ったアンケートや学力・体力テスト、生活アンケート等から実態を分析し、改善策を考えてきました。

田井小学校は、見附市教育委員会主催の「学校評価アドバイスの会」に申し込み、指導を受けています。指導者から今後のアドバイスをいただく中で、田井小学校の子どもたちの頑張る姿と、それを支えてくださっている保護者・地域の皆様の手厚いご支援ご協力、そして学校へのご理解について、称賛の言葉をいただきました。

2月4日(水)の学校運営協議会や2月13日(金)の学級懇談会でいただいたご意見や、課題として挙がった内容につきましても来年度に向けて検討し、学校運営に反映してまいります。



2月4日 学校運営協議会

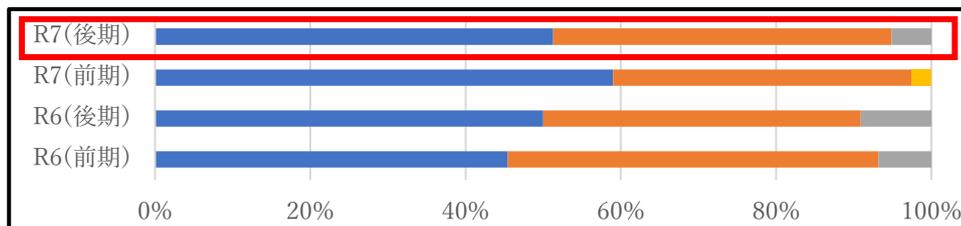


2月13日 学級懇談会

## 自分で考え、進んで活動に取り組む子

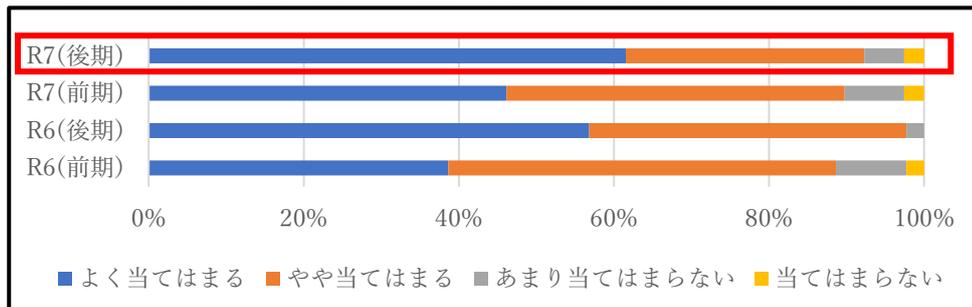
### ◆目指す姿「よく考え、対話をする子」について

【児童アンケート】～友達に自分の考えを分かりやすく説明したり、自分が分かるまで質問したりしていますか～



4年生算数 考え方の交流

【児童アンケート】～対話することで自分の考えを広げたり、深めたりできましたか～



みつけ子ども大学

田井小学校では、子ども一人一人の学びが深まるよう、令和5年度から「対話」に焦点を当てて職員研修に取り組んでいます。今年度は、教師が授業の中にピクトグラム（文字の代わりに単純化した絵文字）を用いて対話する場面を意図的に取り入れ、より深い話合いとなるよう工夫してきました。後期の結果においても「対話」に関わる上記項目で高い値を維持しています。これからも、子どもが「対話する場面」を意識し、自分の考えをひろげたり深めたりするために積極的に他と関わっていく姿を目指して、様々な活動に取り組んでいきます。そのために、みつば三校（田井小・見附第二小・上北谷小）での合同活動も最大限に活用していきます。



上北谷小児童会祭りに参加



みつば三校 自然教室



みつば三校 フットサル教室



みつば三校 リモート授業

### ◆目指す姿「基礎基本の学習内容や方法を身に付けている子」について

児童にテスト前の事前テストやドリルパーク（タブレット端末を用いたデジタル学習ソフトのドリル機能）に取り組ませ、子どもたち一人一人の理解度を把握してきました。また、ドリルパークに関しては、ICTサポーターによる研修を行い、基礎基本の学習内容の定着を図ってきました。しかし、「学習における弱点克服のために児童一人一人に対応する」という点においてはまだまだ改善の余地があります。今後も個々の取組を確実に把握して強みと弱点を明確にし、個に応じた的確な課題の出し方や弱点克服のためのアドバイスができるよう、事前テストやドリルパークの有効な活用方法に関わる研修や、実践の共有等を充実させ、さらに活用を進めていきます。

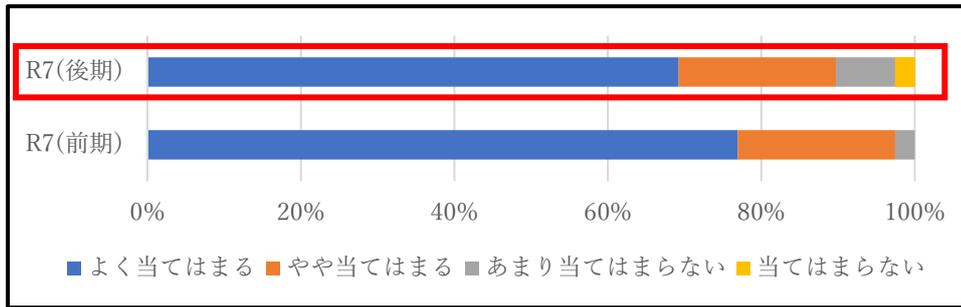
#### ☆次年度の取組 目指す子どもの姿「◎自分で考え、進んで活動に取り組む子」

- 「対話的な学び」を深める研修の推進（子どもが自主的に対話を進める手立ての工夫）
- 家庭と連携した個に寄り添うドリルパーク活用の推進（学習習慣と学力の定着）

## 自他を認め、共に高め合う子

### ◆目指す姿「自分に自信をもつ子」について

【児童アンケート】～学級の活動や委員会活動、行事等で自分の役割を一生懸命にがんばりましたか～

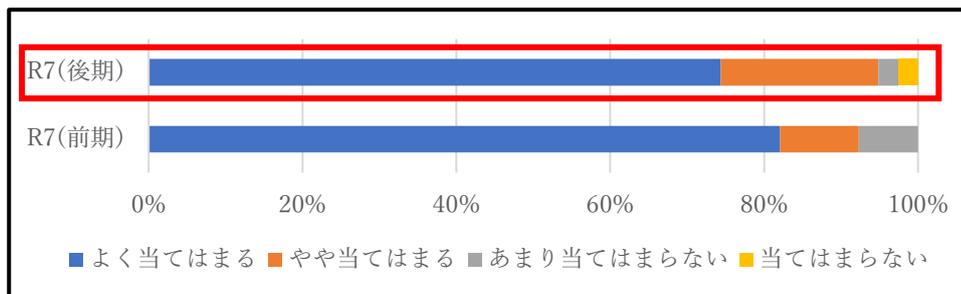


田井小 絆集会

前期の97.4%と比べると少し低下しましたが、後期の肯定的評価は89.7%と高い値となりました。徳育部が進めた「田井小 絆集会」では、中学校区区のいじめ見逃しゼロスクール集会に参加した6年生が、そこで学んだことについて下学年に伝え、「いじめ」についてなかよしフレンズ班（異学年交流のための活動班）で話し合いました。いじめを目撃したときに自分に出来る事について、6年生のリードの下、一人一人が真剣に考える姿が見られました。

### ◆目指す姿「友達と共に成長する子」について

【児童アンケート】～あいさつ運動やなかよしデー、児童会の活動、学級の活動に友達と一緒に進んで取り組みましたか～



きらきらすてきの木

後期は94.8%と高い肯定的評価となりました。

「きらきらすてきの木」の活動では、1学期は友達のよいところを見つけて「葉」に表しました。2学期は、子どもたち一人一人が自分で自分のよいところ見つけに取り組み、「すてきの木」に「実」がなりました。

12月には、今年度初の試みとなる「高学年による読み聞かせ」を行いました。高学年児童が、これまでの読書経験を活かして下学年に合わせた本を選び、少し緊張しながらも最後まで丁寧に読み聞かせました。

1月の「なかよしデー」（異学年交流の時間）では、「どうしたら大縄跳びを上手に跳べるようになるか教えてほしい」という低学年からのお願いに、なかよしフレンズ班で答え、タイミングを見て背中を押すなど、コツを教えてあげました。

子どもたちは、挨拶運動や学級の係活動、なかよしフレンズ班や清掃などの縦割り班活動を通して友達と関わったり、自分自身を振り返ったりする中で自分のよさに気づき、それが自信へとつながっています。

引き続き「なかよしデー」や「レベルアップ朝会」等でいろいろな友達と関わり、話し合う時間を充実させ、協力する良さや活動の意義について子どもたちと確認し、共有していきます。



高学年による読み聞かせ



大縄跳びのコツを伝授

### ☆次年度の取組 目指す子どもの姿「◎自他を認め、共に高め合う子」

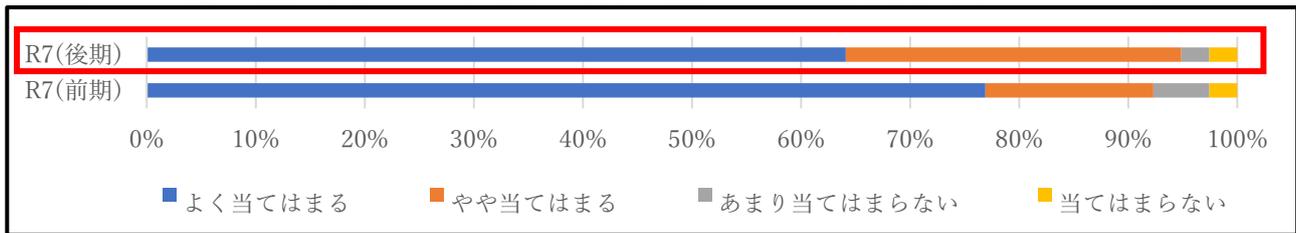
○児童会や学級発信による児童の主体的な活動の推進（自他受容や自他理解の促進）

○縦割り班活動の継続（思いやりや感謝の心を育み、集団意識や連帯感を高める活動の工夫）

## 自分の健康を考え、元気に生活する子

### ◆目指す姿「楽しく元気に体を動かす子」について

【児童アンケート】～運動のめあてを立て、めあてに向けて運動しましたか（持久走・なわとびについて）～



今年度、児童が自己評価する項目を「前期：体力テストの中の2種目」「後期：持久走となわとび」に内容を絞りました。前期のアンケートにおける肯定的評価は92.3%と高い値でしたが、後期は94.9%と更に高くなりました。児童一人一人が目標を決め、その目標を達成するために進んで運動に取り組んだ結果だと考えます。

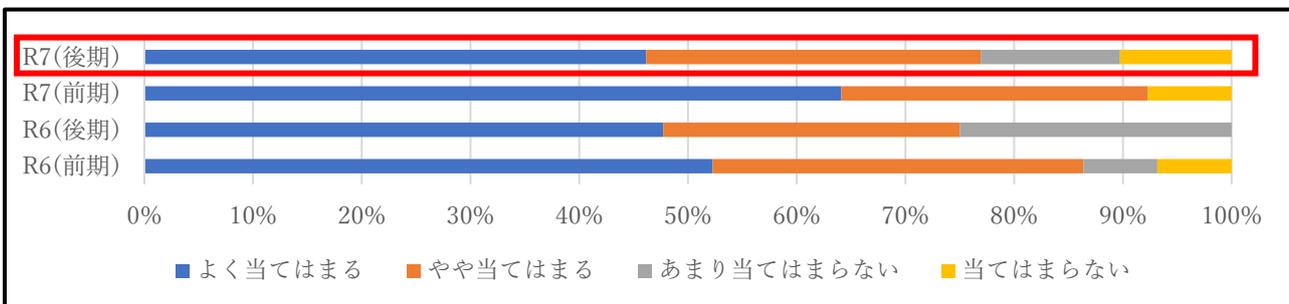
1月の終わりには田井小学校恒例のなわとび大会を行いました。大会に向け、子どもたちは学年部ごとにチームの目標を決め、20分休みに行くゴーゴータイムでの練習に一所懸命に取り組みました。本番は大雪となり、気温が低くてコンディションはよくありませんでしたが、子どもたちはチームの仲間と心を一つにして精一杯挑戦しました。残念ながら、新記録は出ませんでしたでしたが、それぞれが達成感を味わうことができたと思います。このように、今後も体を動かすことよさを実感できる活動を検討してまいります。



ゴーゴータイム  
[なわとび大会に向けて]

### ◆目指す姿「よりよい生活習慣づくりに励む子」について

【児童アンケート】～メディア依存にならないように、メディアとの付き合い方に気を付けましたか～



昨年度の後期と比較するとわずかに高くなったものの、前期92.3%だった肯定的評価が、後期は76.9%に低下しました。見附市共通保護者アンケートでは、「スマートフォン等の利用時間」と「家庭におけるメディア利用のルール決め」の2項目において、田井小は残念ながら市内小学校の中で最も低下率が高くなってしまいました。AIの時代において、児童とメディアの関わりは「対話・創造・思考を支援するパートナー」へと変化し、切り離せないものとなりました。しかし、メディアとはバランスよく付き合っていくことが重要です。各ご家庭で、ぜひ、一日の生活リズムを確認し、多様な時間の使い方を工夫してほしいと思います。そして、メディアの利用については、引き続き【①時間帯、②利用場所、③時間】などのルールを各ご家庭でしっかりと決め、年間を通して取り組んでいただきたいと思います。今現在、ご家庭でのお子さんのメディアへの関わり方はいかがでしょうか。お子さんの健全な成長のためには、家庭と学校の協力による生活習慣の改善が必要だと考えております。

#### ☆次年度の取組 目指す子どもの姿「◎自分の健康を考え、元気に生活する子」

- 達成感を育む体育授業の工夫とゴーゴータイムの継続（運動量の確保・基礎体力の向上）
- 生活習慣（特にメディアに関わる事）の改善に向けた家庭と学校との連携